



低侵襲治療の 更なる普及を目指して

幅広い診療領域において、ドライモデルや術中ナビゲーションシステムなどを用い、実際の場면을様々な角度から想定しながら、実践的なトレーニングを行うことができます。製品の安全・適正使用はもちろん、低侵襲治療や最先端医療の安全な確立・普及をサポートします。



精巧なドライモデルを用いた腹腔鏡手術手技や、ハイブリッド肺モデルによる胸腔鏡手術手技など多彩なプログラムを展開。

Surgical



実際の臨床に近い 環境を再現

最新鋭の診断機器・設備を設置。脳神経領域などの血管内治療や循環器領域の3Dマッピングシステムとエックス線透視を利用した治療、また、整形外科領域では3D撮影可能な移動式外科用X線イメージ装置によるナビゲーションシステムを用いた施術などの分野において新領域を開拓します。



アンギオ装置や三次元マッピング装置を活用し、リアルな施術環境を実現。

Angiography



医療に関わるすべての人が、 ここでつながる

実地演習のみならず座学や各種セミナーにも対応できるよう、大型セミナールームや国内外との通信ネットワーク、遠隔映像配信システムなどの設備やインフラを完備。ラボ室やカテ室で展開されるプログラムを、次なるイノベーションとして世界に発信していくための環境を整えています。



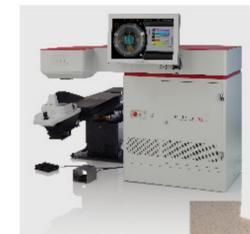
約180名を収容できる大型セミナールームや、少人数でのミーティング用会議室も完備。

Communication



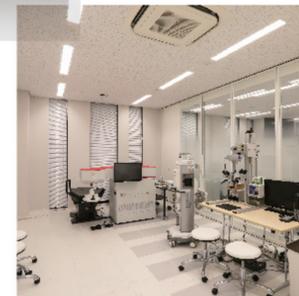
J&Jでは世界初、 白内障手術とコンタクトレンズの トレーニング施設が誕生

Johnson & Johnson Visionも新たに加わり、細隙灯顕微鏡(スリットランプ)や屈折検査のためのオートレフケラトメーターに加え、レーザーや超音波を利用した白内障手術機器を設置。眼科領域の幅広いトレーニングが提供可能になりました。



オート操作が可能な最新鋭のCATALYS Precision Laser Systemを完備。

販売名:カタリスプリジジョンレーザー
承認番号:22700BZX00201000



Johnson & Johnson Vision

Johnson & Johnson INSTITUTE

Tokyo

医療従事者のパートナーとして

医療機器の高度化・複雑化が進み、患者さんの負担が少ない治療への社会的ニーズも高まる中で、医療従事者には常に医療機器の操作技術向上が求められています。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、1888年に滅菌済みの医療製品と共にその使用方法を的確に伝えるためのパンフレットを出版。それ以来、医療機器の適正な使用を推進し、患者さんが高度な医療をより安全に受けられるように支援することを目的に、130年以上にわたり、医療従事者向けのプロフェッショナルエデュケーションを提供してきました。

2014年、神奈川県川崎市にジョンソン・エンド・ジョンソンインスティテュート（東京サイエンスセンター、以下、JJI東京）を設立。羽田空港に近く、国際戦略総合特区・国家戦略特区でもあるキングスカイフロントを拠点として、国内外から幅広い診療科の医療従事者が訪れています。

History | 130 years of Medical Education at Johnson & Johnson

無菌手術法を解説した「無菌操作概念を用いた現代的創傷処置*」を出版。細菌論および無菌手術法の普及に貢献。



1888

1898



Image courtesy: Johnson & Johnson Archives

医療従事者向け科学情報誌「赤十字ノート（原題：Red Cross Note）」の出版を開始。戦場で医療処置を行う外科医に向けた情報や教育的内容を掲載。

食事、分娩および新生児管理など、妊婦に関するすべてを網羅した妊婦向け資料「出産における衛生管理（原題：Hygiene in Maternity）」を出版。



1902



低侵襲手術に関するエデュケーションを目的とした初めての施設をオハイオ州シンシナティに設立。同年、福島県須賀川市に日本初のトレーニングセンターを設立。

エチコン研究センター内に心臓・血管系疾患治療の設備（CCVI）を整え、施設名称をMIT研究センターへ変更。患者様のケア向上に貢献。



2007

1992



更なる安全な医療の普及を目指し、東京サイエンスセンターを設立。日本の高度な医療技術や手技をグローバルに発信していく最先端拠点としてアジア各国からの医師に対してもエデュケーションを提供。

デビューシナセは、AO財団と5年契約を締結。世界トップクラスのエデュケーションを提供し、患者さんのアウトカムと治療の効率性改善を目指す。



2015

2018



医療従事者向けのトレーニングをJohnson & Johnson Instituteと新ブランドを立ち上げ、医療従事者の生涯学習を安定的に提供できるよう取り組みを開始。

* 原題：Modern Methods of Antiseptic Wound Treatment

Concept

すべての医療従事者の生涯学習を安定的に供給

Trusted Dedicated Innovative

Trusted

新たに導入される医療機器の安全使用・適正使用のため、信頼できる研修コンテンツを開発・提供することで、低侵襲・最先端医療の確立・普及に貢献します。



Innovative

診療科の枠や様々な分野の教育の枠を超え、最先端の科学・最新のソリューションとテクノロジーを組み合わせ、すべての医療従事者の学習ニーズにきめ細かく対応します。



Dedicated

幅広い診療領域に多彩なトレーニングコンテンツを提供するために、専門性の高い世界中の医療従事者と一緒に、魅力あふれるコンテンツを日々構築します。



Institutes | 拠点施設

ジョンソン・エンド・ジョンソンでは、川崎市、須賀川市、大阪市の3箇所に「Johnson & Johnson Institute」の拠点を有しています。

ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート [東京サイエンスセンター]



〒210-0821
神奈川県川崎市川崎区殿町
3丁目25番19号

ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート [須賀川]



〒962-8501
福島県須賀川市大桑原字
女夫坂1番地

ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート [大阪]



〒541-0059
大阪府大阪市中央区博労町
3丁目5番1号
御堂筋グラントワー
ジョンソン エンド ジョンソン
株式会社大阪支店17階

